

1 各評価項目の今後の主な取組について

安全確保と危機管理

- ・児童生徒数の増加に伴い、特別教室やグラウンド、駐車場などの施設設備の充実に向けて取り組んでいます。
- ・ヒヤリハットを活用しながら安全な環境づくりに取り組んでいます。
- ・児童生徒の実態や地域の状況に応じた生活安全教育や交通安全教育にも取り組んでいます。

自信と意欲を育てる指導

- ・今後も教育目標達成のため、児童生徒の自信と意欲を育てる指導に取り組んでいます。
- ・児童生徒の実態に合った学習形態の工夫やICTを活用した授業実践に校内研究の成果を生かして取り組んでいます。
- ・タブレットや電子黒板の活用力や特別支援学校の教員としての専門性を高めるための研修を行います。

家庭及び地域との連携

- ・行事や授業など学校の様子を具体的に伝達できるよう取り組んでいます。
- ・地域における学習活動の充実を目指し、協力していただける地域の人材や団体を増やす取組をしています。
- ・外部機関と積極的に連携を図っていきます。

2 学校評議員からいただいた御意見

- ・概ね良好な評価であるが、教職員と保護者等との比率から保護者等が少し低い。伝わり方の問題があると思われるため 分析を行うとよい。より良いPRの工夫をするとよい。
- ・教職員の専門性について問われることが多くなってきた。指導にかかる時間の確保が必要である。先生方の専門性や連携を高めることが良い結果に繋がる。
- ・いじめ対策の大変さということでは、児童生徒が「いじめ」とは何かの理解が分かるような工夫が必要である。
- ・新型コロナウイルス感染症対応の中で生じた学習手段の変化について、再度見直しも検討事項となる。